



ヤマエ 久野株式会社

2 0 2 1 年 3 月 期
決 算 説 明 資 料

2021年5月11日

東証一部・福証

証券コード
8108

目次

1. 2021年3月期決算概要	P. 3 ~ 14
2. トピックス	P. 15 ~ 21
参考：会社概要	P. 22 ~ 29

※ 金額表記は表示単位未満を切捨てで、%表記は四捨五入して記載しております。



1. 2021年3月期決算概要

2021年3月期 決算ハイライト

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高・利益共に前年比減少

【連結】2021年3月期

単位：億円	2020年3月期	2021年3月期		
			増減	増減率
売上高	5,221	4,838	▲382	92.7%
売上総利益	485	436	▲48	90.0%
販売管理費	440	424	▲15	96.5%
営業利益	45	11	▲33	25.9%
(営業利益補正後※)	(-)	(15)	(▲29)	(34.3%)
経常利益	49	19	▲30	38.9%
特別損益	▲1	18	+19	1894.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	18	▲2	86.4%
EBITDA	107	73	▲33	68.4%

※「雇用調整助成金」を補正

2021年3月期 単体・グループ会社別内訳

特に関東地区で業務展開している業務用酒販・食材卸売事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を強く受けた状況

【連結】2021年3月期(のれん償却等を除く)

単位：億円		2020年3月期	2021年3月期		
				増減	増減率
ヤマエ久野単体	売上高	3,834	3,760	▲74	98.1%
	営業利益	21	19	▲1	93.1%
	経常利益	23	21	▲1	91.6%
グループ会社	売上高	1,386	1,077	▲308	77.7%
	営業利益	43	11	▲31	27.7%
	(営業利益補正後※)	(-)	(15)	▲27	(36.4%)
	経常利益	45	17	▲27	39.4%

※「雇用調整助成金」を補正

2021年3月期 四半期毎業績推移

1Qは緊急事態宣言発令により業務用業態（ホテル・レストラン・飲食店等）を中心に大幅な減少

2Q以降は回復傾向であったが、4Qは緊急事態宣言再発令の影響を受け、再び減少

【連結】

単位：億円	2021年3月期1Q			2021年3月期2Q			2021年3月期3Q			2021年3月期4Q		
		前年同期増減額	前年同期比		前年同期増減額	前年同期比		前年同期増減額	前年同期比		前年同期増減額	前年同期比
売上高	1,141	▲154	88.1%	1,237	▲104	92.2%	1,336	▲48	96.5%	1,122	▲75	93.7%
営業利益	▲12	▲18	▲175.3%	2	▲10	21.4%	17	▲5	77.6%	2	+0	135.5%
(営業利益補正後※)	(-)	(-)	(-)	(5)	(▲7)	(39.8%)	(18)	(▲4)	(81.6%)	(3)	(+2)	(156.6%)
経常利益	▲10	▲19	▲116.2%	6	▲6	51.3%	17	▲6	74.2%	4	+1	143.1%

※「雇用調整助成金」を補正

業態別売上高

〔業務用〕2Q以降回復傾向であったが、4Qは緊急事態宣言再発令の影響を受け、再び減少

【連結】

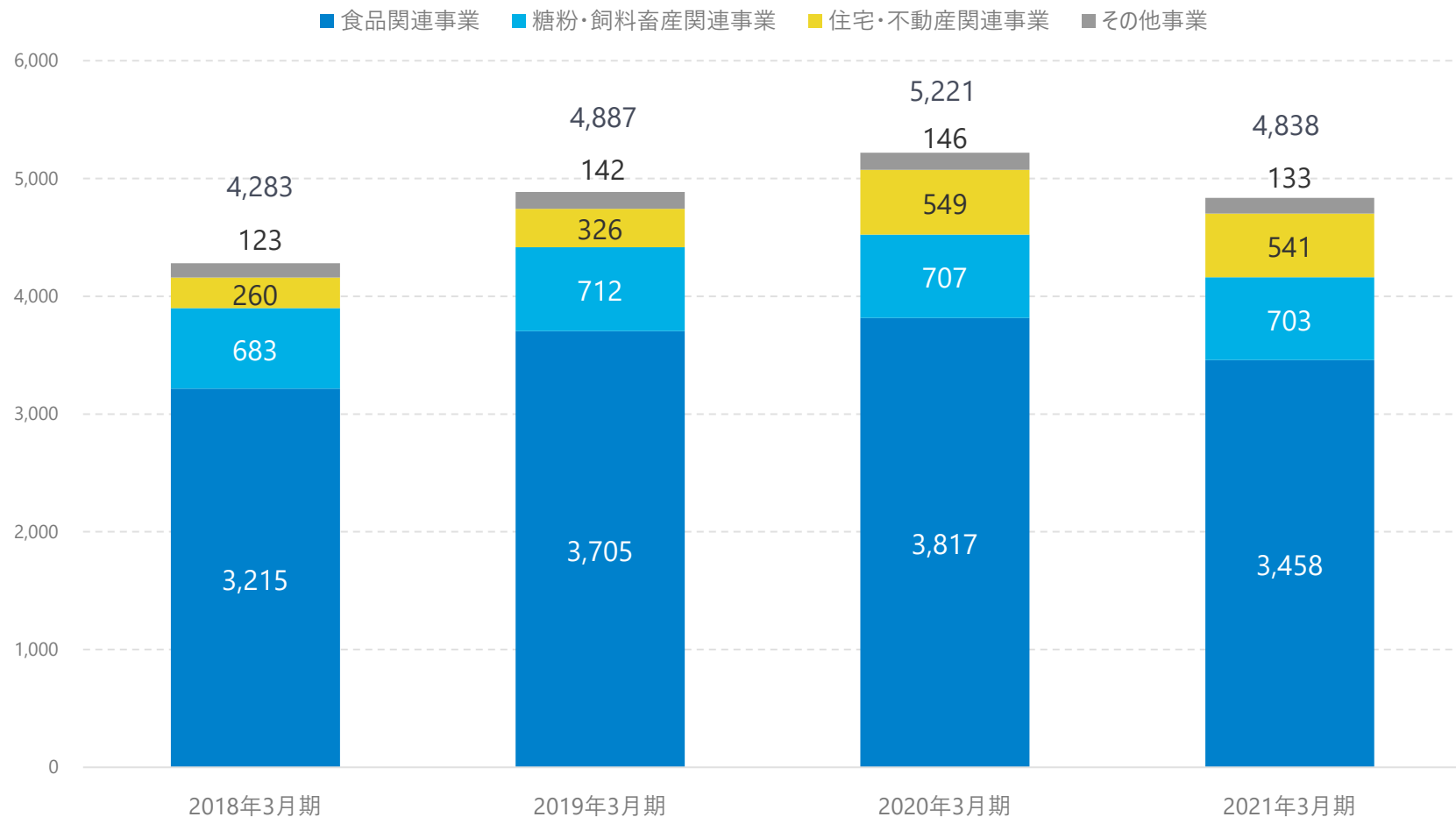
単位：億円	2021年3月期1Q		2021年3月期2Q		2021年3月期3Q		2021年3月期4Q	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
スーパーマーケット	364	111.3%	368	106.9%	389	110.9%	331	108.6%
農水畜産業・製造業	157	93.8%	159	95.0%	176	97.8%	155	95.8%
業務用	85	39.3%	143	63.6%	166	69.6%	102	55.7%
木材・住宅資材関連	140	93.3%	141	90.6%	158	100.8%	149	101.9%
CVS・ミニスーパー	94	90.2%	107	94.5%	110	95.6%	97	97.2%
卸売業・商社	81	84.4%	91	93.5%	96	92.7%	77	97.5%
ドラッグストア	77	120.3%	70	102.3%	71	110.0%	63	102.6%
その他	139	84.3%	155	92.7%	166	97.2%	145	92.0%
合計	1,141	88.1%	1,237	92.2%	1,336	96.5%	1,122	93.7%

セグメント別売上高

【連結】2021年3月期

セグメント別売上高

(億円)

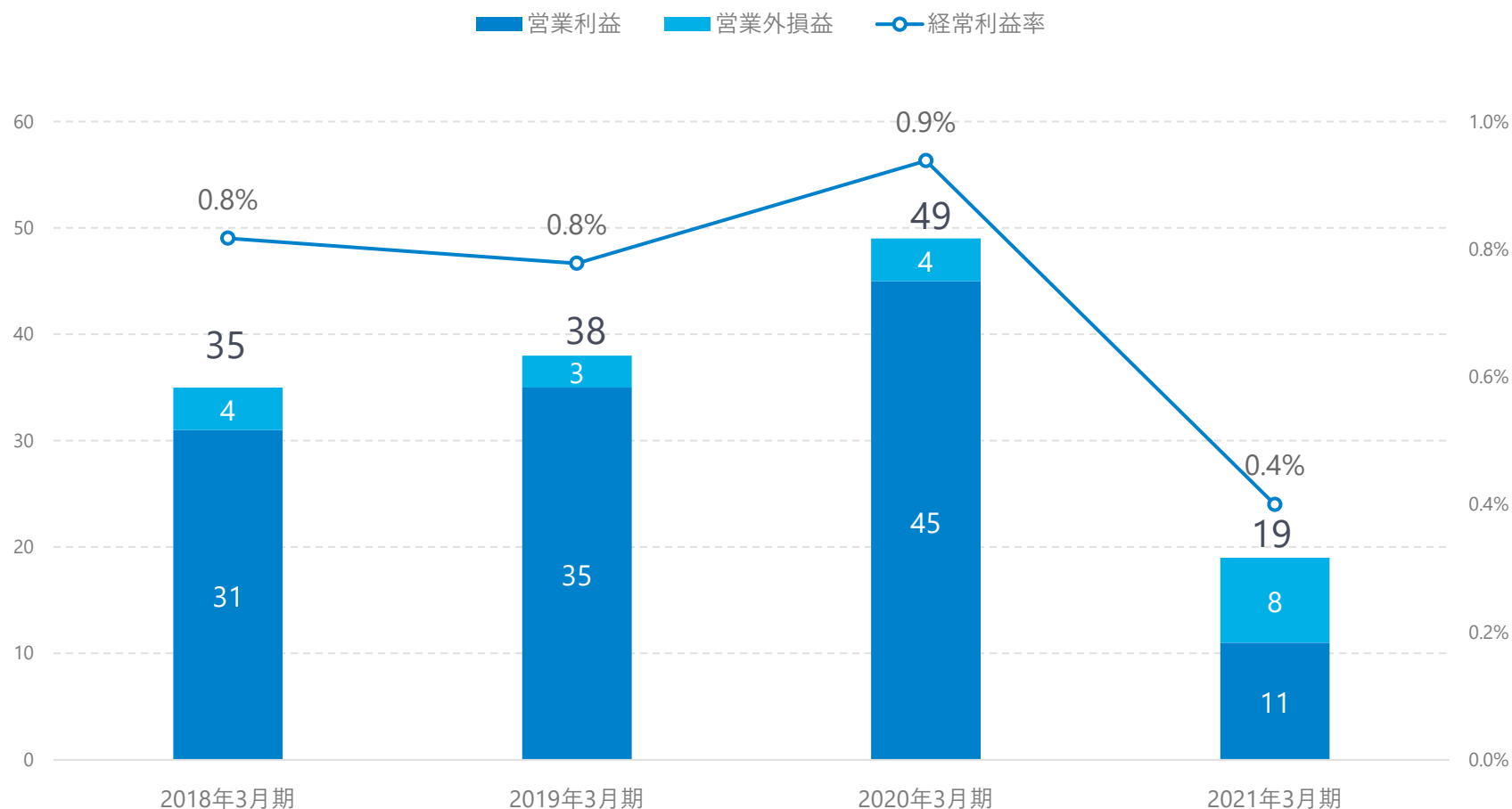


営業利益・経常利益

【連結】2021年3月期

営業利益・経常利益

(億円)

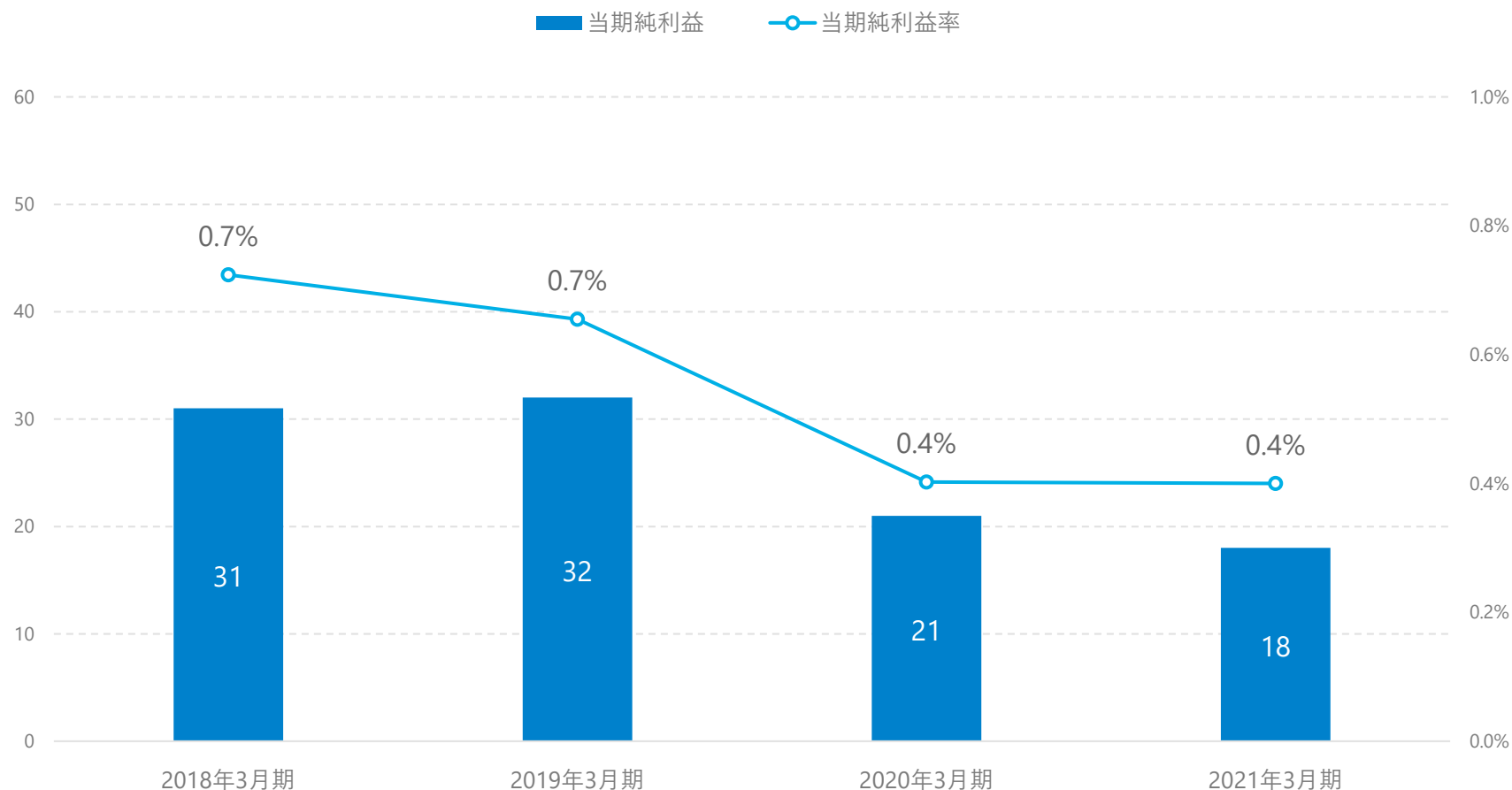


親会社に帰属する当期純利益

【連結】2021年3月期

親会社に帰属する当期純利益

(億円)



連結貸借対照表

【連結】2021年3月期

単位：億円	2020年3月期	2021年3月期	増減	増減理由
流動資産	917	828	▲88	・現預金 ▲74 ・売掛金 ▲19
固定資産	840	852	+11	・土地 +11
総資産	1,757	1,681	▲76	
負債合計	1,196	1,135	▲61	・借入金 ▲45 ・買掛金 ▲22
純資産	561	545	▲15	・非支配株主持分 ▲11（子会社株式取得）
自己資本比率	30.0%	31.1%	+1.1%	
1株当たり純資産（円）	2,225円	2,209円	▲16円	

連結キャッシュフローの状況

【連結】2021年3月期

単位：億円	2021年3月期	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	216	
営業活動によるキャッシュフロー	51	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前当期純利益 +37 ・減価償却費（含、のれん償却）+61 ・仕入債務減少 ▲21、法人税等支払 ▲14
投資活動によるキャッシュフロー	▲21	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産（取得 ▲38、売却 +19）
財務活動によるキャッシュフロー	▲104	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債削減 ▲46 ・連結範囲変更を伴わない子会社株式取得 ▲34
現金及び現金同等物の期末残高	141	

2022年3月期 通期業績予想

2022年3月期は、利益ベースで2020年3月期実績までV字回復を目指す

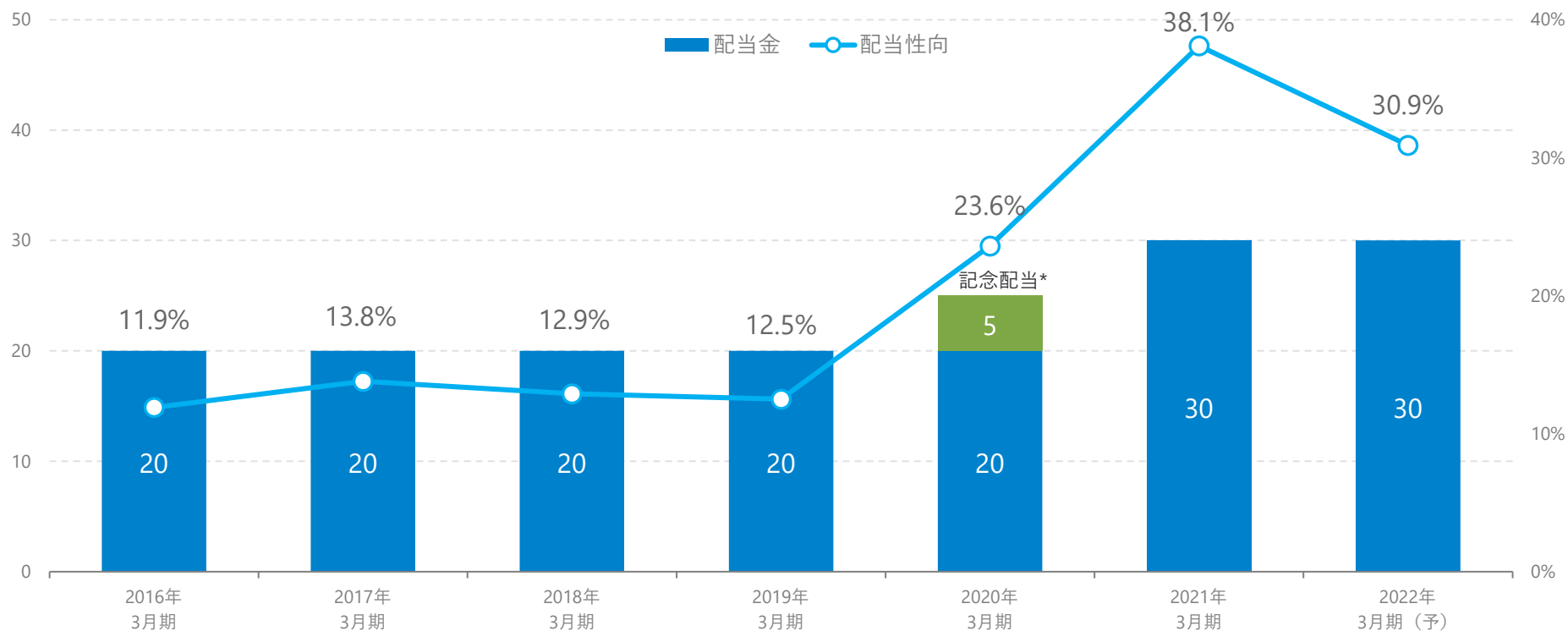
【連結】

単位：億円	2020年3月期 実績 ①	2021年3月期 実績		2022年3月期 業績予想			
			増減	②	増減	増減率	②÷①
売上高	5,221	4,838	▲382	5,100	+261	105.4%	97.7%
営業利益	45	11	▲33	41	+29	351.2%	91.0%
経常利益	49	19	▲30	45	+25	233.3%	90.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	18	▲2	23	+4	123.5%	106.7%

安定配当を継続

配当金

(円)



*設立70周年および東証一部上場記念



2. トピックス

次世代流通のモデルとなる物流センターが稼働

熊本物流センター



敷地面積 42,000坪（東京ドーム3個分）
延床面積 22,000坪

所在地 熊本県熊本市東区戸島町

取扱カテゴリ 加工食品、日配、酒類、糖粉
飼料畜産、木材住資

設備投資金額 約131億円

導入技術

- AGV（無人搬送機）
- 自動倉庫
- 電子棚札
- マルチピッキングカート
- バーチレーター（垂直搬送機）
- 移動ラック式ピッキングシステム



AGV(無人搬送機)

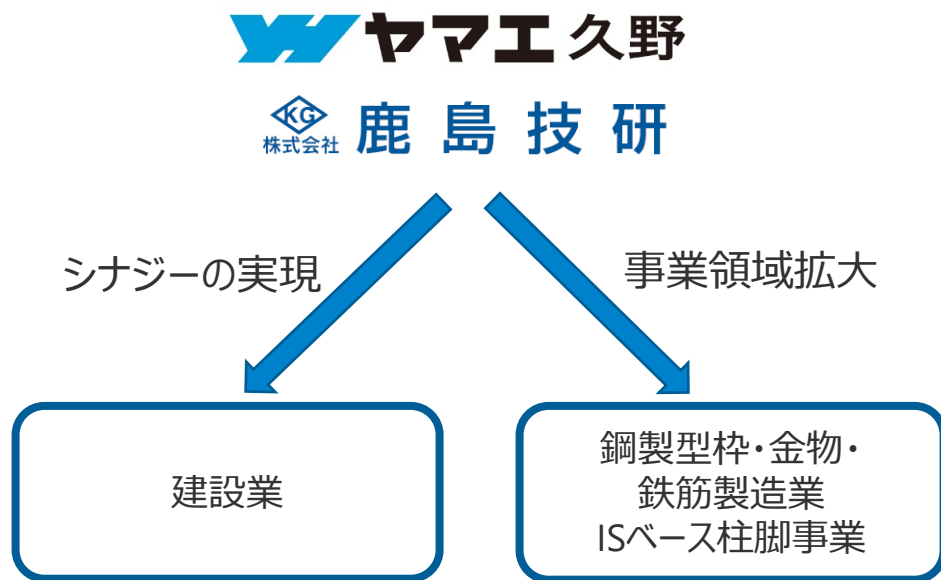


自動倉庫

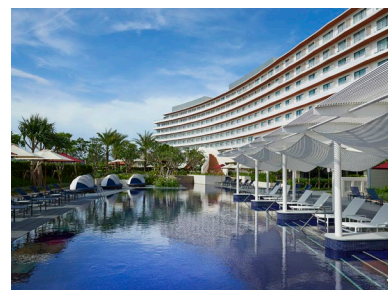
AI・自動化設備などの先端技術を活用し効率化・省人化を実現
熊本県内5ヵ所に分散した拠点・センターを集約

鹿島技研を子会社化（2020年7月）

プレキャスト製品に関わる鋼製型枠・金物・鉄筋製造業、ISベース柱脚代理店として、
販売から施工・管理まで行う鹿島技研を子会社化



〔施工実績〕 九州・沖縄・関東地区において多数の現場での実績



〔工場風景〕



九州・関東地区における双方事業の更なる市場深耕と成長を目指す

独自の鮮度管理技術を有するトワードと 低温物流に関する倉庫事業や配送事業等において業務提携

ヤマエ久野

多様化する顧客ニーズ

配送エリアの拡大



TOVARD

効率的配送ネットワーク

鮮度管理技術

シナジー効果

外部環境変化に対応する高度なロジスティクスネットワークの構築



福岡センター



両社の経営資源、経営ノウハウを有効に活用し、事業効率の向上を目指す

津山青果と業務提携（2020年10月）

全国有数の農産物生産地である熊本を基盤とする津山青果と
青果物の仕入から販売までの全ての事業において業務提携

ヤマエ久野

生鮮事業の顧客基盤・提案力

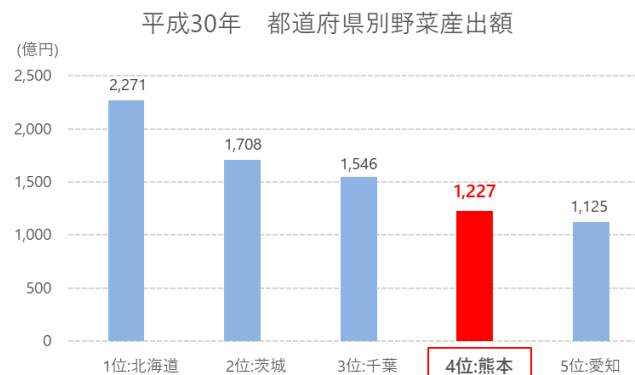
熊本物流センター有効活用



津山青果

全国有数の生産地である
熊本の農産物を取扱

青果物の仕入から販売までの一層の強化

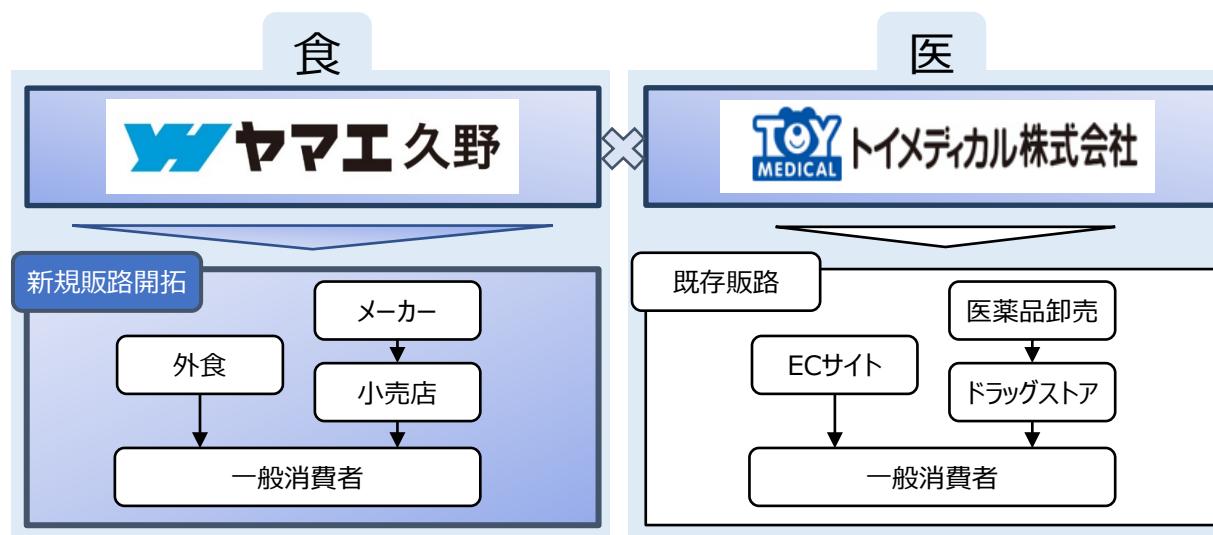


生産から販売までの商流・物流構築を目指す
熊本物流センターを有効活用

トイメディカルと業務提携（2021年1月）

世界初の「排塩※」技術を開発したトイメディカルと
食品事業における業務推進や商品力強化等において資本業務提携

※食事に含まれる塩分を吸着し体外へ排出する




トイメディカルの技術力と、ヤマエ久野の顧客基盤・販売網を組み合わせることにより、
食品関連事業者に対し、新たな付加価値の提供を目指す

栄住産業を子会社化（2021年4月）

独自の金属防水工法「スカイプロムナード」を有し、
バルコニー・屋上の防水工事を請け負う栄住産業を子会社化

 ヤマエ 久野

 株式会社 栄住産業

住宅資材

全国の拠点網

プレカット

3千社のビルダー

シナジー効果

戸建住宅マーケットにおけるシェアアップ

住宅資材等の更なる販路拡大

【陸屋根「スカイプロムナード」】



【屋上緑化「OSORA リビング」】



住宅資材等の更なる販路拡大により、住宅・不動産関連事業の更なる成長を図る



参考：会社概要

会社概要：九州を基盤とする企業と企業を繋ぐ中間流通業

商号	ヤマエ久野株式会社
本社	福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号エコビル
設立年月日	1950年（昭和25年）4月27日（設立71年）
代表取締役	会長CEO 網田 日出人（おうだ ひでと） 社長COO 大森 礼仁（おおもり ひろと）
資本金	約29億7400万円（2021年3月末現在）
業績	売上高：4,838億円 経常利益：19億円（2021年3月期）
証券コード・上場取引所	8108：東京証券取引所第一部（2020年3月上場）、福岡証券取引所
グループ企業	子会社28社・持分法適用会社1社（2021年4月末現在）
従業員数	7,060名（2021年3月末現在）＊パート・アルバイト含む
主な事業内容	食品（含む原料）、酒類、飼料畜産、木材・住宅資材の卸売及び物流事業

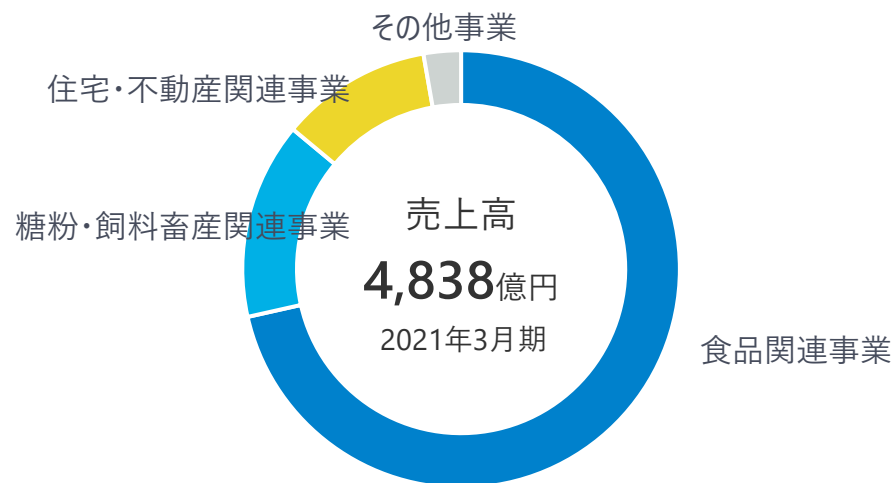
会社概要：沿革、売上高構成、業績推移

沿革

食品と住宅の中間流通業として九州に発足。事業エリアを全国に拡大。直近は積極的なM&Aを実施

- 1950年 (株)江夏商店を設立
- 1966年 ヤマエ商事(株)に商号変更
- 1969年 久野食糧(株)と合併、ヤマエ久野(株)に商号変更
- 1974年 福岡証券取引所へ上場
- 1983年 大糖商事(株)（現大阪支店）を吸収合併 **関西エリア進出**
- 1986年 (株)丸中（現東京支店）を吸収合併 **関東エリア進出**
- 1995年 子会社(株)フレンドリーデリカ（現(株)デリカフレンズ）にてコンビニエンスストア向け米飯事業開始 **米飯事業開始**
- 2005年 (株)ワイテックを設立 **プレカット事業開始**
- 2017年 デリカS F ホールディングス(株)を設立し、(株)惣和・双葉産業(株)を子会社化 **米飯事業拡大**
みのりホールディングス(株)を子会社化
- 2018年 (株)日装建・(株)TATSUMIを子会社化
ORIGINAL JAPAN S.R.L.（イタリア現法）を設立 **海外進出**
- 2019年 HVCホールディングス(株)（ハイビック(株)）を子会社化
東京証券取引所第一部へ上場
- 2020年 設立70周年
(株)鹿島技研を子会社化
日装ビルド(株)を設立
- 2021年 (株)栄住産業を子会社化

セグメント別売上高構成比



業績推移



ヤマエ久野グループ企業一覧

所在地	会社名	事業内容
福岡県	高千穂酒造株式会社	焼酎・リキュール製造および販売
	高千穂倉庫運輸株式会社	運送、倉庫業
	ヤマエ石油株式会社	石油製品販売、車両整備および損害保険取扱
	株式会社リンネット	情報処理およびシステム開発
	株式会社ワイテック	木材プレカット加工および住宅建築資材の販売
	ヤマエレンタリース株式会社	レンタカー事業
	株式会社サンエー 2 1	ボランティア事業および一般食品販売、製造委託
	いんま商事株式会社	菓子卸
	デリカSFホールディングス株式会社	持株会社
	株式会社デリカフレンズ	弁当惣菜製造業
	株式会社惣和	惣菜類製造業
	双葉産業株式会社	弁当惣菜製造業
	株式会社鹿島技研	一般建設業、鋼製型枠・金物・鉄筋製造業、ISベース柱脚事業
	株式会社栄住産業	屋根・バルコニー・人工芝・物置の据付工事・資材販売業
大分県	株式会社カクヤマ	酒類・食料品等の販売

所在地	会社名	事業内容
熊本県	株式会社日装建	建設工事業
	日装ビルド株式会社	不動産の保有・賃貸・売買・管理・仲介等
沖縄県	YLO株式会社	物流センター運営事業
東京都	みのりホールディングス株式会社	持株会社
	株式会社河内屋ジェノス	業務用酒類卸
	フィット株式会社	共同物流事業
	株式会社アール・エヌ・エス	システム開発保守
	株式会社TATSUMI	食材およびワイン中心のレストラン専門卸売業
	ワイ&アイホールディングス合同会社 ^{※1}	持株会社（菓子卸 コンフェックス HLD(株)の株式保有）
千葉県	株式会社春日や	酒類卸および小売業
栃木県	HVCホールディングス株式会社	持株会社
	ハイビック株式会社	木材プレカット加工および住宅建築資材の販売、建設工事
静岡県	株式会社オトスイ	水産物卸
イタリア	ORIGINAL JAPAN S.R.L. ^{※2}	日本食の店舗販売および貿易業務

※1 持分法適用会社

※2 非連結子会社

特徴：創業の地「九州」への密着

九州を本拠地として70年に亘り事業を展開

産物・商材の情報の獲得

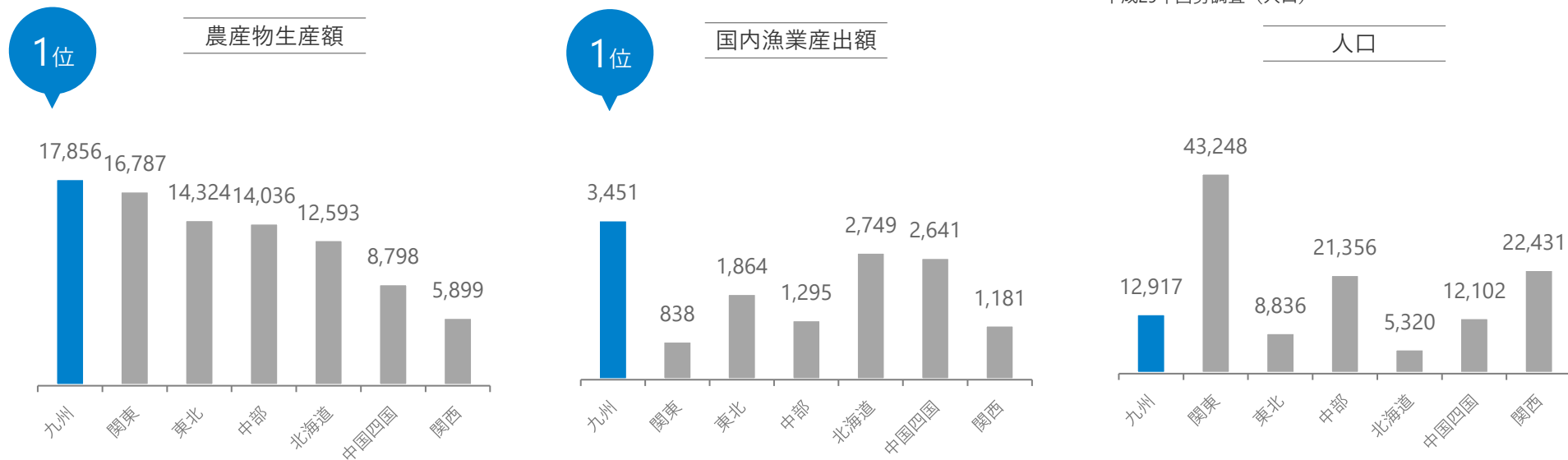
地場企業・生産者との
深い関係性の構築

商材の品質確保、
安定供給体制を確立

商材・サービスのブランド化による高い利益率の確保

九州は日本の食糧基地

出典：平成30年農林水産統計（農産物生産額・国内漁業産出額）
平成29年国勢調査（人口）



特徴：さらなる成長を求めて九州から全国へ

約4,800社の仕入先から九州地場の商材を発掘・育成し品質確保、安定供給を実施

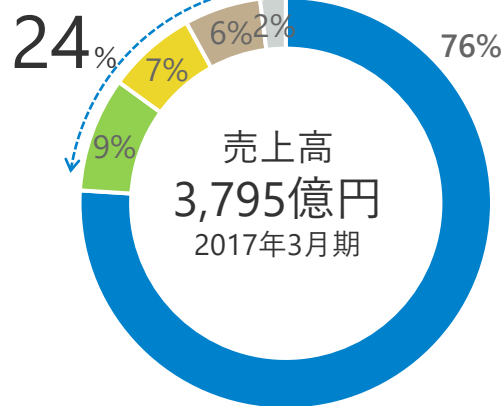
全国展開を目指す顧客との共生を核とした事業エリアの拡大

戦略的なM&Aを実施

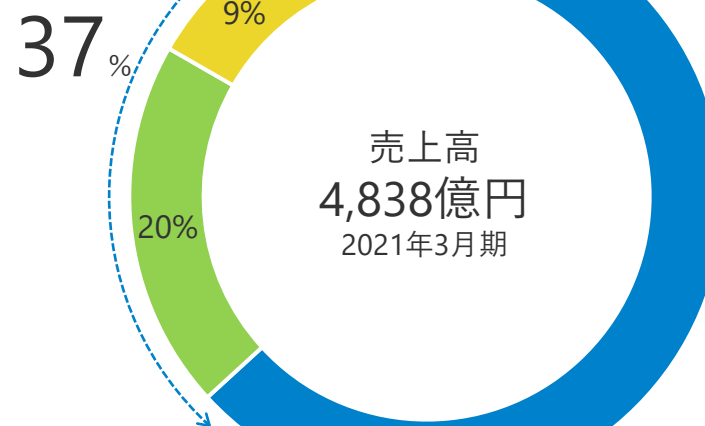
九州をブランド化して全国へ展開

地域別の売上高比率

九州外の売上高構成比



九州外の売上高構成比



● 九州・沖縄 ● 関東 ● 中国 ● 関西 ● その他

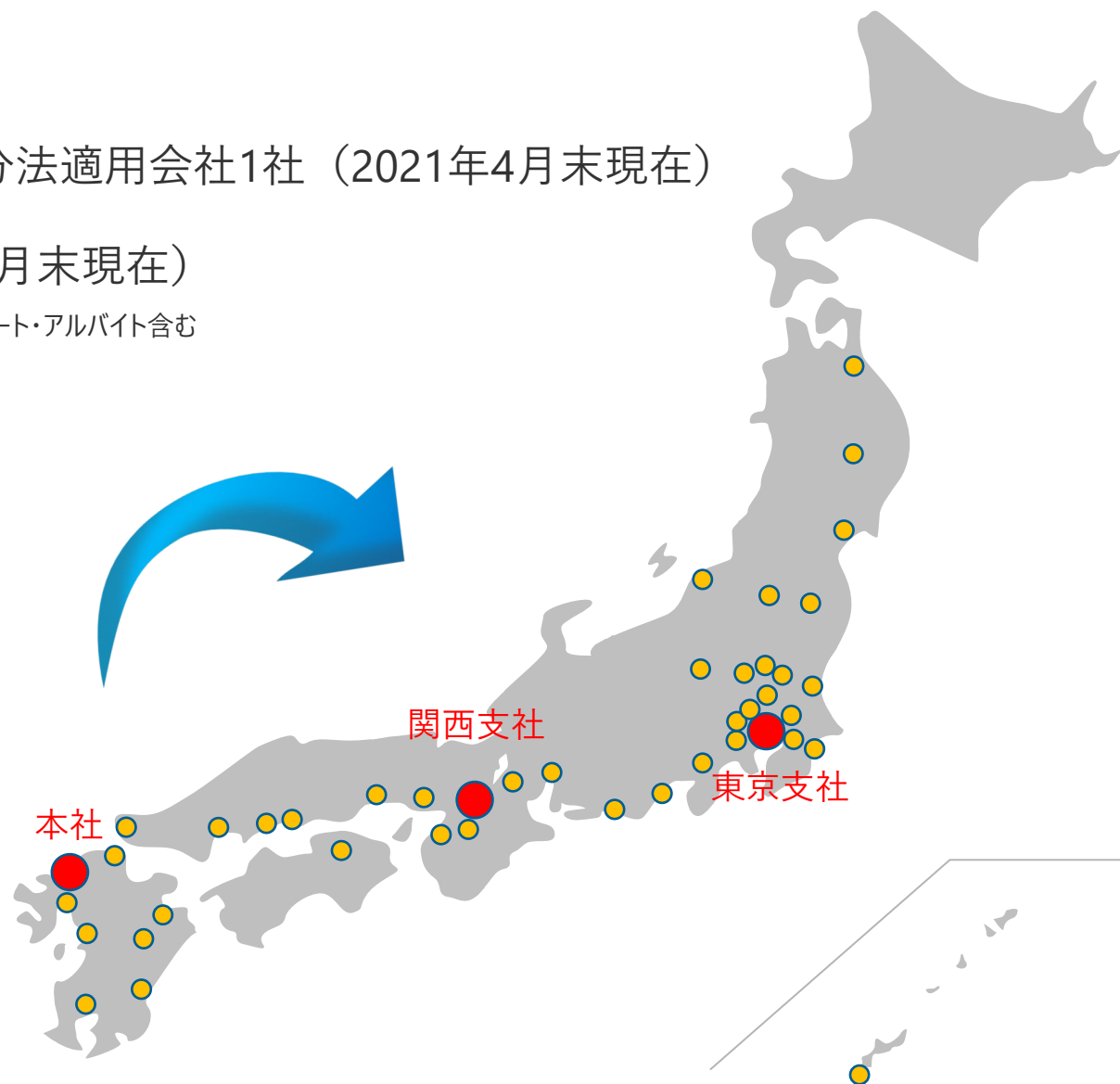
特徴：さらなる成長を求めて九州から全国へ

拠点数：180カ所

グループ企業：子会社28社・持分法適用会社1社（2021年4月末現在）

従業員数：7,060名（2021年3月末現在）

*パート・アルバイト含む



強み：幅広い商材のワンストップ供給と独自サポート提供で重要パートナーへ

サプライチェーンの川上（一次産業）から川下（最終消費者）に至る幅広い商材をワンストップで供給
当社独自のサポート機能を提供することで、顧客の事業における重要パートナーとなり安定した売上高・利益を確保

食と住分野の顧客にとって、当社は重要な事業パートナーの位置づけ



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。

お問い合わせ

 ヤマエ 久野株式会社

E-mail

yh-ir@yamaehisano.co.jp